



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 エスケー化研株式会社  
コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 實  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理 (氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	70,104	△0.4	9,870	6.4	10,564	14.0	7,348	18.5
28年3月期第3四半期	70,408	2.6	9,281	1.6	9,270	△20.4	6,202	△18.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 4,986百万円 (△9.4%) 28年3月期第3四半期 5,502百万円 (△31.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	544.23	—
28年3月期第3四半期	454.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	113,747	93,546	82.2	6,932.97
28年3月期	110,737	89,630	80.9	6,633.31

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 93,546百万円 28年3月期 89,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				期末	合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00	65.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	8.0	13,000	8.9	13,300	22.9	9,040	26.6	669.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	15,673,885 株	28年3月期	15,673,885 株
29年3月期3Q	2,180,964 株	28年3月期	2,161,715 株
29年3月期3Q	13,501,932 株	28年3月期3Q	13,636,749 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(会計方針の変更)	3
(2) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などが見られるものの、個人消費の回復が足踏み状態を続けています。また、アジア地域では中国を始め新興国経済の減速や、政治・経済の動向による変動リスクもあり、依然として景気の先行きについて不透明な状況が続いております。

建築塗材業界におきましては、公共投資、耐震改修促進法による公共・民間建物の改修需要の拡大、首都圏を中心とした大規模再開発が進行しておりますが、一方、建築現場の労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅その他のストックを抱えるリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料等の各種機能性塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は、701億4百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。利益面におきましては、営業利益が、98億70百万円（同6.4%増）、経常利益が、為替変動の影響等により105億64百万円（同14.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、73億48百万円（同18.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。主にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行い、売上高は643億70百万円（同0.9%減）と前四半期連結累計期間に比べて5億68百万円の減収となりました。セグメント利益は108億76百万円（同3.8%増）と前四半期連結累計期間に比べて4億円の増益となりました。

## ②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、大都市再開発地域における受注の拡大により、売上高は42億19百万円（同12.6%増）と前四半期連結累計期間に比べて4億70百万円の増収となりました。セグメント利益は4億67百万円（同16.0%増）と前四半期連結累計期間に比べて64百万円の増益となりました。

## ③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は15億14百万円（同12.0%減）と前四半期連結累計期間に比べて2億6百万円の減収となりました。セグメント利益は2億40百万円（同32.2%増）と前四半期連結累計期間に比べて58百万円の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて30億10百万円増加し、1,137億47百万円（前連結会計年度末比2.7%増）となりました。

増加した主なものは、現金及び預金37億61百万円（同6.1%増）、投資その他の資産のその他2億74百万円（同8.9%増）、流動資産のその他2億72百万円（同61.8%増）であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて9億4百万円減少し、202億1百万円（前連結会計年度末比4.3%減）となりました。

減少した主なものは、賞与引当金4億89百万円（同32.6%減）、未払金3億54百万円（同6.5%減）、支払手形及び買掛金2億78百万円（同4.7%減）であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて39億15百万円増加し、935億46百万円（前連結会計年度末比4.4%増）となりました。

増加した主なものは、四半期純利益を含む利益剰余金64億69百万円（同7.1%増）、減少した主なものは、為替換算調整勘定23億85百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成28年5月10日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,681	65,442
受取手形及び売掛金	21,252	21,367
商品及び製品	2,207	2,036
仕掛品	980	951
未成工事支出金	122	256
原材料及び貯蔵品	4,236	3,975
繰延税金資産	722	458
その他	441	714
貸倒引当金	△17	△43
流動資産合計	91,627	95,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,821	4,455
機械装置及び運搬具(純額)	940	677
土地	8,376	8,299
建設仮勘定	46	62
その他(純額)	97	78
有形固定資産合計	14,281	13,572
無形固定資産	1,140	992
投資その他の資産		
投資有価証券	11	14
繰延税金資産	263	257
退職給付に係る資産	489	529
その他	3,079	3,353
貸倒引当金	△156	△134
投資その他の資産合計	3,687	4,020
固定資産合計	19,109	18,586
資産合計	110,737	113,747

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,933	5,654
短期借入金	3,030	3,030
未払金	5,494	5,140
未払法人税等	1,350	1,496
賞与引当金	1,500	1,010
役員賞与引当金	87	65
製品保証引当金	40	42
その他	1,372	1,381
流動負債合計	18,809	17,822
固定負債		
繰延税金負債	37	33
役員退職慰労引当金	1,079	1,101
退職給付に係る負債	74	78
その他	1,105	1,165
固定負債合計	2,296	2,379
負債合計	21,106	20,201
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	91,241	97,711
自己株式	△9,205	△9,398
株主資本合計	87,835	94,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	2
為替換算調整勘定	1,886	△499
退職給付に係る調整累計額	△91	△69
その他の包括利益累計額合計	1,795	△566
純資産合計	89,630	93,546
負債純資産合計	110,737	113,747

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	70,408	70,104
売上原価	48,511	47,823
売上総利益	21,897	22,280
販売費及び一般管理費	12,616	12,409
営業利益	9,281	9,870
営業外収益		
受取利息	253	223
受取配当金	0	0
仕入割引	58	53
為替差益	—	472
雑収入	47	85
営業外収益合計	359	835
営業外費用		
支払利息	13	8
売上割引	0	0
為替差損	348	—
減損損失	—	130
雑損失	8	1
営業外費用合計	370	142
経常利益	9,270	10,564
税金等調整前四半期純利益	9,270	10,564
法人税、住民税及び事業税	2,762	2,955
法人税等調整額	305	260
法人税等合計	3,067	3,215
四半期純利益	6,202	7,348
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,202	7,348



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	6,202	7,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
為替換算調整勘定	△640	△2,385
退職給付に係る調整額	△60	21
その他の包括利益合計	△700	△2,361
四半期包括利益	5,502	4,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,502	4,986
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,000株、平成28年8月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式15,000株及び当第3四半期連結累計期間において単元未満株式1,249株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1億92百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が93億98百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	64,939	3,748	68,687	1,721	70,408	—	70,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	64,939	3,748	68,687	1,722	70,410	△1	70,408
セグメント利益	10,475	403	10,879	181	11,061	△1,779	9,281

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△17億81百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	64,370	4,219	68,589	1,514	70,104	—	70,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	2	3	△3	—
計	64,371	4,219	68,590	1,516	70,107	△3	70,104
セグメント利益	10,876	467	11,343	240	11,584	△1,713	9,870

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△17億15百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建築仕上塗材」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1億30百万円であります。